

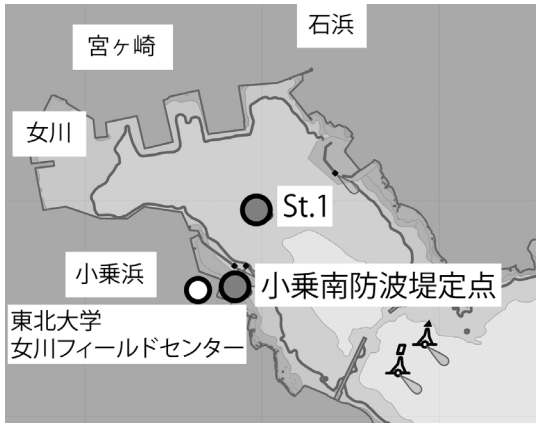
週刊 女川湾海況速報 (No.8)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリナインス復興支援室

9 月 3 日から 7 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：水温、塩分はともに先週と同程度。水温は水深とともに下降。表層（0m）と底層（5m）で 1.0～3.7℃の水温差。塩分は水深とともに上昇傾向。底層近くで外洋水の影響が顕著。

水深 [m]	9月3日 (月)	9月4日 (火)	9月5日 (水)	9月6日 (木)	9月7日 (金)
0	25.5 (33.6)	25.1 (31.0)	24.4 (33.7)	24.9 (33.6)	23.6 (33.4)
5	22.7 (33.8)	21.4 (33.7)	21.7 (33.8)	22.7 (33.7)	22.6 (33.8)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：3、4日に底層で特に高い値（2.8FTU以上）。5日以降は先週と同程度にまで回復。

水深 [m]	9月3日 (月)	9月4日 (火)	9月5日 (水)	9月6日 (木)	9月7日 (金)
0	1.0	0.6	0.5	0.6	0.6
5	3.7	2.8	1.0	0.6	0.8

（単位は FTU）

③溶存酸素：先週と比較して、下降傾向にあるが、7～8mg/l 台を維持。

水深 [m]	9月3日 (月)	9月4日 (火)	9月5日 (水)	9月6日 (木)	9月7日 (金)
0	7.4	7.6	7.9	7.4	7.5
5	8.0	7.7	7.9	7.7	7.7

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温は水深とともに下降。水深 0m と 5m の間に大きな水温勾配（2.2℃/5m）。塩分は全層で 33.7 パーミル以上。外洋水の影響と推定。濁度は 0.4～2.3FTU。溶存酸素は 7.3～8.1mg/l。

9 月 5 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	24.6	33.7	0.4	7.8
5	22.4	33.8	0.6	8.1
10	20.3	33.8	0.9	7.6
15	19.0	34.0	0.7	7.6
20	18.4	34.0	2.3	7.3

本データの利用については、  
東北大学マリナインス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。